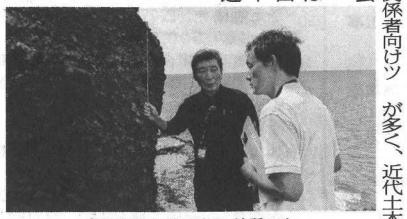
キタック
技術士の社会的知名度向上を
角田岬でジオツーリズム体験会

総合建設コンサルタントのキタック（新潟市中央区、中山正子代表取締役社長）は、技術と地域をつなぐ新たな観光事業として、地形や地質の専門家とともに県内の自然を巡る受注型企画旅行「技術士と旅する新潟～大地の鼓動と水の恵みを感じる旅～」を立ち上げた。3日に新潟市西蒲区で報道関係者向けツアー体験会を開いた。

この日はまず、角田浜灯台コース駐車場近くの燦燦BASEに集合。冒頭、中山社長は「新潟はもともと災害が多く、近代土木技術で成り立っている県であることが非常に重要だと思っていた。難関な国家資格でありながら、あまり知られていない技術士の社会的知名度アップを図りたい」と語った。プロジェクトリーダーでCGソリューションセンティレクターの佐藤里紗氏が事業概要を説明し、案内人の新潟県地質調査業協会理事長などを務める平野吉彦取締役副社長が「新潟県の地形・地質のおいたち～大地の動きによって作られた日本～」をテーマに、新潟県の地形地質が越後平野・山地・丘陵の特異な形であることや、日本列島の地質の特徴などを紹介した。

あいさつする中山社長


角田岬遊歩道で地形・地質の生い立ちを解説する平野副社長㊨

その後、平野副社長が案内人となり、角田岬遊歩道を散策。露出する海底火山の噴出物として、さまざまな岩相の水冷破砕岩（ハイアロクラスタイト）を専門的な解説を交えながらガイドした。

キタックが長年の建設コンサルタント業務で培ってきた専門的な技術力や知見を活かし、新潟ならではのジオツーリズムを展開するもの。地質・土木の専門家である「技術士」が全国でも類を見ない新潟特有の地形や地質、近代土木技術について、専門的な解説を交えながら案内。さらに、その土地に根差した文化や風土も紹介し、知的かつ文化的な体験を提供する。観光庁の「地域観光新発見事業」に採択され、11月からは新潟市、燕・弥彦、村上市を巡る3コースを用意。修学旅行での体験学習プログラムなどを想定し、来年度以降は佐渡市を巡るコースも検討中。企画・運営はキタック、運行は提携先の新潟運輸旅行事業部が担当。

なお、総合建設コンサルタントが地域観光新発見事業の補助を受けてジオツーリズムを展開するのは全国初の試みになるという。

地域観光新発見事業に採択

来年度に計画策定
下水道ウォーターPPP

南魚沼市は、下水道へのウォーターPPP導入について、2026年度中の決定を目指して検討を進めている。

政府は下水道におけるウォーターPPP導入を強力に推進する方針を打ち出しており、27年度以降、汚水管更新においては導入決定済みであることを交付金の申請要件にしている。このため、導入を進めなければ汚水管の老朽化更新や不明水（消雪用水）対策を交付金事業で実施することができなくなることが背景にある。市議会9月定例会の一般質問で上村栄二上下水道部長は「（26年度中に）何らかの形でウォーターPPP導入を図りたいと考えている」と、寺口友彦市議の質問に答弁した。また、導入について林茂男市長は「下水道維持管理の専門的な知識を持つ技術系の職員を専属で安定的に下水道課に配置することはきわめて難しい。民間委託（ウォーターPPP導入）は人材確保、専門技術の継承などの面で有効だ」との認識を示した。

新潟県も市内の流域下水道六日町処理区を候補地に選定して導入に向けた作業を進めており、それに合わせて市も県と連携して大和クリーンセンターなどを対象に導入を検討していく方針。市が現在、大和クリーンセンターの燃焼BASEに集合。冒頭、中山社長は「新潟はもともと災害が多く、近代土木技術で成り立っている県であることが非常に重要だと思っていた。難関な国家資格でありながら、あまり知られていない技術士の社会的知名度アップを図りたい」と語った。プロジェクトリーダーでCGソリューションセンティレクターの佐藤里紗氏が事業概要を説明し、案内人の新潟県地質調査業協会理事長などを務める平野吉彦取締役副社長が「新潟県の地形・地質のおいたち～大地の動きによって作られた日本～」をテーマに、新潟県の地形地質が越後平野・山地・丘陵の特異な形であることや、日本列島の地質の特徴などを紹介した。

その後、平野副社長が案内人となり、角田岬遊歩道を散策。露出する海底火山の噴出物として、さまざまな岩相の水冷破砕岩（ハイアロクラスタイト）を専門的な解説を交えながらガイドした。

キタックが長年の建設コンサルタント業務で培ってきた専門的な技術力や知見を活かし、新潟ならではのジオツーリズムを展開するもの。地質・土木の専門家である「技術士」が全国でも類を見ない新潟特有の地形や地質、近代土木技術について、専門的な解説を交えながら案内。さらに、その土地に根差した文化や風土も紹介し、知的かつ文化的な体験を提供する。観光庁の「地域観光新発見事業」に採択され、11月からは新潟市、燕・弥彦、村上市を巡る3コースを用意。修学旅行での体験学習プログラムなどを想定し、来年度以降は佐渡市を巡るコースも検討中。企画・運営はキタック、運行は提携先の新潟運輸旅行事業部が担当。

なお、総合建設コンサルタントが地域観光新発見事業の補助を受けてジオツーリズムを展開するのは全国初の試みになるという。

八千代エンジニヤリングに
磐越道三川－安田間施工計画
ネクスコ新潟支社

ネクスコ東日本新潟支社は、「磐越自動車道三川～安田間施工計画検討業務」について、条件付一般競争入札で開札実施し、2116万円で八千代エンジニヤリングに落札した。

磐越自動車道の三川～安田間の4車線化工事に伴うトンネル掘削土について、重金属等含有土に対する封じ込め設計を行うもので、盛土候補箇所における工事用進入路の検討、設計および擁壁工の設計を行う。また、西山トンネルⅡ期線掘削に伴う西山トンネルⅠ期線の湧水を防災本管へと取り廻すための検討および設計、西山トンネルⅡ期線完成後の中央排水をⅠ期線取水水槽へと取り廻す用排水設備の設計を行う。

業務内容は、擁壁工設計A＝1断面、同B＝7断面、同C＝1断面、同D＝1断面、詳細図作成A＝29枚、同B＝24枚、同C＝3枚、同D＝3枚、同E＝3枚、工事発注用図面作成（図面修正A1＝15枚、同B＝1枚）など。履行期間は2026年6月29日まで。契約制限価格は2598万円、調査等基準価格は2085万7759円。

場所は阿賀町谷沢－新潟市江南区太右エ門新田となっている。

20日まで受付
農排三光処理場電気
新発田市

新発田市は8日、北中江地内「農集排三光処理場電気設備更新工事」を制限付一般競争入札で公告した。

参加申込は20日まで受け付ける。主な資格は市内に主たるまたは従たる営業所を有し、電気工事Aランクなど。

工事概要は連続流入間欠ばっ気方式の製作機器（機器更新）および動力設備（同）工事を行うもので、範囲は各機器の製作および据付、各機器よりの各負荷へのケーブル配線など。計画処理人口は1480人（現況1000人）、計画汚水量は400立方㍍／日平均（現況270立方㍍／日）。開札は24日に行われ、工期が2026年3月25日まで。

週休2日適用工事（現場閉所、受注者希望方式）の対象案件。

アイ・エス・エスに
水理実験場耐震診断
整備局新潟技調

北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所は、「水理実験場耐震診断業務」について、一般競争入札で開札し、618万円でアイ・エス・エスに落札した。

業務内容は水理実験場RC造・S造延べ4404.45平方㍍の耐震診断業務。履行期間は2026年1月30日まで。

若手技術者登用促進型および技術提案等の評価項目に新たに履行確実性を加えて技術評価を行う試行業務。

予定価格については773万7600円に設定されていた。

概算100億
旧地下商店街
中原 八一 市長

新潟市は、中央区の旧地下商店街「西堀ローサ」を再利用に向け、修繕に要する概算費用100億円超を市が全額負担することも視野に検討を進めていく方針。市が現在、大和クリーンセンターの燃焼BASEに集合。冒頭、中山社長は「新潟はもともと災害が多く、近代土木技術で成り立っている県であることが非常に重要だと思っていた。難関な国家資格でありながら、あまり知られていない技術士の社会的知名度アップを図りたい」と語った。プロジェクトリーダーでCGソリューションセンティレクターの佐藤里紗氏が事業概要を説明し、案内人の新潟県地質調査業協会理事長などを務める平野吉彦取締役副社長が「新潟県の地形・地質のおいたち～大地の動きによって作られた日本～」をテーマに、新潟県の地形地質が越後平野・山地・丘陵の特異な形であることや、日本列島の地質の特徴などを紹介した。

その後、平野副社長が案内人となり、角田岬遊歩道を散策。露出する海底火山の噴出物として、さまざまな岩相の水冷破砕岩（ハイアロクラスタイト）を専門的な解説を交えながらガイドした。

キタックが長年の建設コンサルタント業務で培ってきた専門的な技術力や知見を活かし、新潟ならではのジオツーリズムを展開するもの。地質・土木の専門家である「技術士」が全国でも類を見ない新潟特有の地形や地質、近代土木技術について、専門的な解説を交えながら案内。さらに、その土地に根差した文化や風土も紹介し、知的かつ文化的な体験を提供する。観光庁の「地域観光新発見事業」に採択され、11月からは新潟市、燕・弥彦、村上市を巡る3コースを用意。修学旅行での体験学習プログラムなどを想定し、来年度以降は佐渡市を巡るコースも検討中。企画・運営はキタック、運行は提携先の新潟運輸旅行事業部が担当。

なお、総合建設コンサルタントが地域観光新発見事業の補助を受けてジオツーリズムを展開するのは全国初の試みになるという。

県55億、市町村88億円に
8月の発注者別保証取扱高
東日本保証新潟

東日本建設業保証新潟支店がまとめた8月（単月）の前払金保証実績から見た公共工事動向によると、請負金額は新潟県が54億9000万円（対前年度比16・9%増）、市町村が87億7100万円（同3・2%減）とした。

前年度同月比における県公共4部局の請負金額は土木部29億6400万円、農地部18億5200万円、農林水産部150万円、交通政策局750万円、教育庁4億1900万円、警察本部5800万円、総務部400万円、その他4200万円の計5億8200万円となっている。

また、市町村の請負金額をみると、新潟市、長岡市、小千谷市、加茂市、十日町市、糸魚川市、妙高市、魚沼市、津南町、聖籠町、阿賀町、弥彦村、刈羽村、関川村で増加。一方、上越市、三条市、柏崎市、新発田市、見附市、燕市、村上市、五泉市、佐渡市、阿賀野市、南魚沼市、胎内市、出雲崎町、湯沢町、田上町で減少した。

なお、8月累計における請負金額階層別保証取扱高および件数に関しては、小規模（5000万円未満）が450億6000万円（2678件）、中規模（5000万円以上5億円未満）が996億8500万円（794件）、大規模（5億円以上）が512億8500万円（44件）。工種別保証取扱高および件数については▽土木1084億3000万円（2070件）▽建築379億8400万円（247件）▽電気193億1100万円（253件）▽管142億7600万円（186件）▽設計26億6900万円（167件）▽調査56億2700万円（397件）▽測量7億5500万円（73件）▽機械器具設置50億6700万円（67件）▽その他18億5500万円（56件）－となっている。

新潟県の発注者別保証取扱高（8月単月）　（金額単位：百万円）

区分	発注者	25年度 件数	25年度 請負金額	24年度 件数	24年度 請負金額	対前年度増減率(%) 件数	対前年度増減率(%) 請負金額	対前年度請負金額増減額
公共四部局	土木部	118	2,964	130	2,886	−9.2	2.7	77
	農地部	48	1,852	36	826	33.3	124.0	1,025
	農林水産部	4	15	10	313	−60.0	−95.0	−297
	交通政策局	2	75	5	574	−60.0	−86.9	−499
	小計	172	4,908	181	4,601	−5.0	6.7	306
その他	企業局	1	3	1	1	0.0	75.3	1
	病院局	2	53	1	25	100.0	112.1	28
	福祉保健部			1	12			−12
	産業労働部							
	教育庁	11	419	2	7	450.0	5,201.8	411
	警察本部	4	58					58
	総務部	1	4					4
	その他	1	42	1	45	0.0	−6.0	−2
	小計	20	582	6	93	233.3	525.4	489
合計		192	5,490	187	4,695	2.7	16.9	795

市町村の発注者別保証取扱高（8月単月）　（金額単位：百万円）

区分	発注者	25年度 件数	25年度 請負金額	24年度 件数	24年度 請負金額	対前年度増減率(%) 件数	対前年度増減率(%) 請負金額	対前年度請負金額増減額
市	新潟市	63	2,499	39	1,731	61.5	44.4	768
	長岡市	42	1,476	28	458	50.0	222.4	1,018
	上越市	34	484	45	668	−24.4	−27.6	−184
	三条市	8	225	15	374	−46.7	−39.7	−148
	柏崎市	13	286	22	385	−40.9	−25.8	−99
	新発田市	15	236	18	706	−16.7	−66.5	−469
	小千谷市	4	87	4	55	0.0	56.5	31
	加茂市	6	101	5	86	20.0	17.4	15
	十日町市	10	255	8	233	25.0	9.5	22
	見附市	5	79	7	209	−28.6	−62.2	−130
	燕市	7	174	13	394	−46.2	−55.7	−219
	村上市	4	183	7	265	−42.9	−30.9	−82
	糸魚川市	8	147	18	112	−55.6	31.7	35
	妙高市	11	137	9	118	22.2	15.8	18
	五泉市	10	393	23	598	−56.5	−34.2	−204
	佐渡市	14	454	26	543	−46.2	−16.4	−89
	阿賀野市	4	105	9	665	−55.6	−84.2	−560
	魚沼市	16	841	12	548	33.3	53.4	293
	南魚沼市	5	82	22	305	−77.3	−73.0	−222
	胎内市	3	30	3	103	0.0	−70.1	−72
	県外市							
	小計	282	8,283	333	8,563	−15.3	−3.3	−280
町	出雲崎町			1	15			−15
	湯沢町	13	159	15	309	−13.3	−48.7	−150
	津南町	6	104	3	17	100.0	494.6	87
	田上町			2	19			−19
	聖籠町	1	25					25
	阿賀町	11	116	3	93	266.7	24.5	23
	小計	31	406	24	456	29.2	−11.0	−50
村	弥彦村	2	29	2	27	0.0	7.2	2
	刈羽村	1	37					37
	関川村	2	14	1	12	100.0	11.0	1
	粟島浦村							
	小計	5	81	3	40	66.7	99.9	40
市町村合計		318	8,771	360	9,060	−11.7	−3.2	−289

新潟プレハブ
クスリのアオキ
石川県白山市　青木宏憲代表取締役社長）が、新潟市西区で計画している新店舗は、設計・施工ともに新潟プレハブ工業が一括受注した。

計画によると、県道16号沿いの寺尾朝日通91番1外9筆の3567・47平方㍍を開発し、S造平屋建て延べ1218・03平方㍍の店舗を建設するもの。このほど着工の運びとなり、12月中旬の完成を予定する。開発工事も同社が担当した。

クスリのアオキは石川県を中心に、東北・関東